

〔研究成果〕

あじさい新品種「キャンディポップ」 「スターポップ」「ジュエリーポップ」の育成

あじさいの3品種が2023年3月に出願公表となりました。本県育成のあじさいは7品種となり、あじさいのさらなるブランド力強化を図っていきます。

【育成経過】

当センターでは、あじさい新品種「栃木 a10 号」（商標：キャンディポップ）、「栃木 a11 号」（商標：スターポップ）、「栃木 a12 号」（商標：ジュエリーポップ）（写真）を育成し、2022年10月に品種登録出願を行い、2023年3月に出願公表となりました。3品種は、2014年に八重咲き・ガクアジサイ型・複色(白覆輪)の「きらきら星」と一重咲き・ガクアジサイ型・複色(赤覆輪)のセンター保存系統を交配し、2016年に得られたF₁系統を自殖交配して育成した姉妹品種です。選抜には、当センターが共同研究により開発した「八重咲き性識別DNAマーカー」を活用しました。

【品種の特徴】

共通する主な特徴は、**装飾花に赤い覆輪が入る八重咲きであること**です。幾重にも重なったピンク色の軽やかな装飾花が、弾けるように次々と花を咲かせる様子から「ポップシリーズ」としました。「栃木 a10 号」「栃木 a11 号」は、ガクアジサイ型ですが、**咲き進むとボリューム感のあるテマリ型へと変化**します。「栃木 a12 号」は母の日のギフト用として人気の高いテマリ型で、咲き進むと緑色に変化します。

本県が育成したあじさいは「きらきら星」「パラソルロマン」「エンジェルリング」「プリンセスリング」とあわせて7品種となりました。

今後は、高品質安定生産技術を確立し、生産グループと一体となり栽培技術のマニュアルの作成に取り組み、本県あじさいのブランド力を強化していきます。

新品種「ポップシリーズ」は、2024年度の春から市場出荷が始まっています。母の日などのギフト向けあじさいの主力品種として期待されています。



写真 あじさい新品種

左：栃木 a10 号（商標 キャンディポップ）、中央：栃木 a11 号（商標 スターポップ）、
右：栃木 a12 号（商標 ジュエリーポップ）

（花き研究室 西川 史）